



JA長野厚生連安曇総合病院

きずな

第234号

発行所:〒399-8695
北安曇郡池田町池田3207-1
TEL(0261)62-3166代
JA長野厚生連安曇総合病院
発行責任者:院長 中川 真一
編集:きずな編集委員会
<http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>

NST(栄養支援チーム)

活躍中

外科統括部長 金谷 洋

君、栄養と聞いただけでア
クビをしたろう？栄養療法は
少し理屈っぽいところもある
けど、君も患者さんの回復を
支えるプロなんだから、少し
は知っておいた方がいいぜ。
まあ、お聞きなさい。

栄養不良をそのままにして
はいけない。なぜか？病氣
がなかなか治らないし、抵抗
力や内臓機能が弱まって、時
には命も落しかねない。

患者さんを一目見た時、ど
うも痩せているとか、元氣
が無いとか、感じるものが
あるだろう。その感覚は大抵
当たっているもので、「最近
痩せましたか、食べられませ

んか」とたずねると、「はい」
と答えられることが多い。そ
の人に栄養療法が必要かどう
かは、第一印象と簡単なイン
タビューで見当がつくんだ。

栄養の必要量は、本にはた
くさん書かれているけども、
要するに年齢・性別と身長・
体重で算出できる。院内各所
に置いてある栄養電卓に入力
すると即座に数字が出てくる。
それに患者さんの活動の程度
や、病氣・怪我によるストレ
スの程度をかけ合わせると、
正式な必要カロリー数が決ま
るしくみだ。

患者さんが実際にそれだけ
のカロリーを取るにはどうす

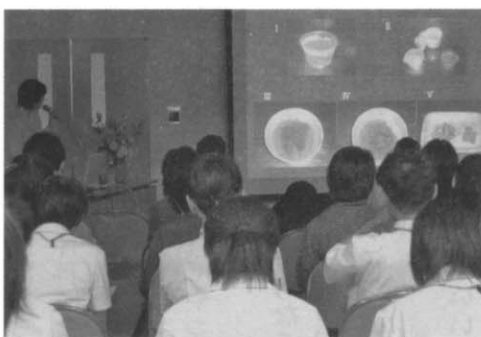
に照らして各人に合った方法
を決めてるだけさ。

栄養療法を始めた患者さん
に回復の兆しがみえると嬉し
い。御本人が生き生きとして
顔に艶が戻ってくる。

NST(栄養支援チーム)

が病棟回診で顔を出すと、
「物好きが来た」みたいに遠
巻きに見てる人がたくさんい
るけど、どうして？自分が
忙しいから？さびしいぜ。

NSTは専門家集団じゃな
い。例えていえばキャンプファ
イヤーの輪です。毎週火曜日
朝の学習会や、月一回の勉強
会は、初めての人も困らない
ように準備して皆の参加を待っ
ています。折角できた心の輪
ですし大切にしたいものです。



第8回栄養勉強会

四季おりおり

思わぬ豪雨は災害を呼び、
夏の幕開けは難航した感があ
ります。信州の短い盛夏、今
年ばかりは夏らしい暑さの到
来に少しほっとする気分です。

▼尋常ならざる雨に傷んだ木々
の葉は、夏特有の深い緑を取
り戻しました。勢いよく咲き
誇るノウゼンカズラの橙色、
向日葵の黄、道行く人のシャ
ツのまばゆい白、遠い山並み
の群青、いずれもためらいの
ない夏の色合いです。「わけ
入ってもわけ入っても青い山
(種田山頭火)」「透く色の白
を整え夏衣(白鳥ゆき子)」
「夜の向日葵踊り果てたるこ
とく立つ(宮津昭彦)」▼界限
はそろそろ、避暑地の賑わい
も見せ始め、通勤路で散策ス
タイルを決め込んだ人たちと
すれ違うことが多くなりまし
た。これも一つの風物詩。夏
休み、心を込めて夏便りでも
出しましょうか。「父と子に
朝の森あり夏休み(入村玲子)」
「病よしと暑中見舞いに書き
そへる(那須青牛)」

老人性認知症センター 関係者研修会

地域福祉科長 臼井 真帆

安曇総合病院認知症センターでは、さる6月29日、関係者研修会を開催いたしました。当日は、認知症の方々に携わる当院職員および、近隣の介護保険事業所の職員の方々と、86名が参加しました。この研修会は、年2回行われており、今回は、平成元年に封切られた映画『安心して老いるために』の舞台となった、岐阜県池田町「特別養護老人ホームサンビレッジ新生苑」施設長の太田澄子さんをお招



きしました。

太田さんは、相手の立場に立つて、相手本位の看護、介護をすることが大事なことでとお話されました。入所当初、険しい表情だった利用者さんが、時間が経つにつれて和やかな表情になっていく実例も写真を交えてご紹介いただきました。

当日参加した職員は、「いつも相手の立場にたつて介護しているはずが、本当は自分や家族に都合のよい介護をしていたのではないか」、「今日の話は普段困っていることそのものだったので、とても参考になった」など、感想を寄せていました。

また、施設のある池田町が町ぐるみで入所者を見守ってくれているので、認知症の方も施設内外を自由に歩けることでした。今までに、さほど大きな問題もないそうです。これも、「相手の立場にたった介護」の実践があるからこそなのであろうと納得させられました。

後期研修医紹介

精神科 長村 哲周

今年4月から安曇総合病院で精神科後期研修医として勤務しています。長村です。両親が岐阜出身であるも、神戸で生まれ京都で育ち20年、その後名古屋に10年。去年、一昨年は再び京都に戻り、初期研修医として働いていました。

元々理系を考え医学を専攻したもの、大学入学前後より哲学、心理学、芸術等文系に対する意識が強くなりました。そんな中で揺れながら、

ヘルパー2級講座 を受講して

看護部 宮澤 久美子

この講座を受講して、現在助手としてやっている仕事を再確認したり、いや全く知らなかったという事も実に多く、毎回ドキドキしている。

また、講座に集まった17人の仲間が実に親しみやすい。皆同じ目的を持って来たから？20歳位の若い子から年配の方、男性の方とさまざま。皆何かを学ぶという目的のせいかな、

縁あって、いい田舎であろうここ安曇野で、精神科医という格好で皆様と心ある生活を送ろうと、離れたい故郷である京都を一旦離れてやってきました。

まだこちらに来て間もなく、戸惑うことも多いですが、特には違和感なく過ごせていると思います。

安曇野がこれからもいいところであるよう、また安曇総合病院がいい病院であるよう私も尽力いたします。よろしくお願いします。

目がキラキラッ！

講師の先生方は実に丁寧に、優しく、或いは熱く教えてくださり、その情熱が心にぐぐつと滲み込んでくる。

ある先生が若い受講生に聞いた。「どうして受講したの？」

『以前に施設でお手伝いをして楽しかったから。』『お年寄り好き？』『即座に『はいっ！』

：その先生はおっしゃった。「日本も捨てたもんじゃないねえ。」同感、同感と私も嬉しくなった。

ひといつと

看護部 板山 さやか

映画・テレビ・友達のやさしさ・家族のあたたかさ。私は感動するとすぐに泣いてしまう。

最近では誕生日に友達夫婦が歌ってくれた『ハッピーバースデー』に感動し、ウルウル。映画を観に行けば、友達が泣いてないところでも、一人で号泣。

あげくの果てには友達に「泣くタイミングがわからない」と言われることもしばしば……。まあ、それはともかくとして、最近映画を観に行くことが好きな私としては、感動して泣いた後は、普段のストレスも発散できて、ちょっと、いや、かなりスッキリとして幸せな気持ちになれるのである。



地域医療連携課の紹介

地域医療
連携課長 矢野口 陽一

当課のキャッチフレーズは「命を繋ぐ連携の輪」。そして今年の文字は「糊(のり)」。

スタッフは専任の事務3名と兼務の事務1名、看護師1名、ケースワーカー1名の混成チームで、主な仕事は、地域医療連携と医師臨床研修そして広報です。地域医療連携では、地域の開業医や病院からの紹介の窓口となり、医療機関からの検査予約や問い合わせに応じています。また、患者さんの大切な診療情報が医療機関同士スムーズに交換されるようサポートしています。

昨年から導入した開放型病院システム(オープンベッド)では、病院医師と開業医が共同で診察する日程などの調整を行っています。今年度からがん診療に関して、さまざまな専門分野から組織的に取り組むことになり、がん診療プロジェクト会議が発足し、その事務局を担当しています。緩和ケアの取り組みや在宅医療を含めた診療計画など地域

の先生方との連携が益々重要となってきました。また、年3回開催される大北南部地区病診連携懇話会の事務局として機能しています。

医師臨床研修では、地域医療を担う医師を育てるため臨床研修指定病院として初期研修医や卒後3年目以降の専門研修医の募集から修了まで、研修管理委員会の事務局として役割を果たしています。また全国の大学医学部に学生の長期休みを利用した病院実習生を募集し、昨年は14の大学から18人の医学生を迎えました。

広報はこの8月から担当することになりました。これから



地域医療連携課スタッフ

地域のお役に立てられる情報を発信してまいります。当課はいわば、当院と地域を繋ぐ「糊」となって機能してゆきたいと考えています。

トピックス・アズミ

▼6月28日、看護部教育委員会学習会が行われました。

▼6月29日に老人性認知症関係者研修会が行われました。

▼7月1日、第63回長野県農村医学学会術総会が行われ、院長、薄井看護部長他が出席しました。

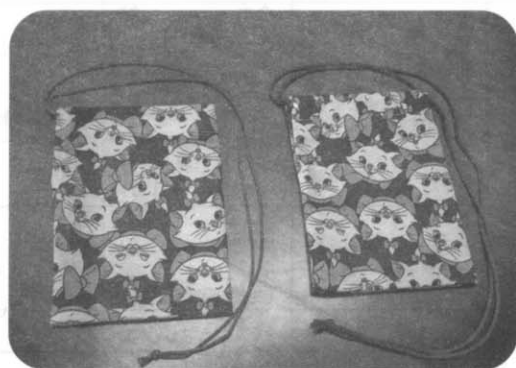
▼7月11日・12日、幹部看護師研修会が行われ、薄井看護部長が出席しました。

▼7月24日、第18回大北南部地区病診連携懇話会が行なわれました。

ボランティアコーナー

ある天気予報では、今年の梅雨明けは大幅に遅れるとのこと。大雨の被害も大きく、夏らしい日差しが待たれる今日この頃です。

さて、当院では病衣のポシェットと、車椅子に取り付ける力



ルテ入れをボランティアの方々に作っていただいています。使い心地についてはご好評をいただいていますので、これからもボランティアの皆さんの協力を得ながら、続けていけたらと考えております。

編集後記

家には十数年間飼っている猫がいます。普段はほとんど寄ってこないけど、冷蔵庫を開けるとすっとんで現われます。カニカマが好物で『くれーくれー』と大騒ぎをし、あげないと文句を言いつて逃げていきます。変な猫です。

人間ドックのお申し込み・お問い合わせ

安曇総合病院 健康管理課

TEL 0261-61-1181 (直通)

FAX 0261-62-6288 (直通)

安曇総合病院ホームページ

URL <http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>

ゆきとどいた看護をするために

看護師募集!!

お問合せは看護部長まで

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供につとめます。

私たちは、事業活動を通じJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

— 基本方針 —

・皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。

・皆さまの権利とプライバシーを尊重する。

・皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいたたくことを全ての医療活動の前提とする。

・近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。

・地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。

・在宅医療支援活動の増進につとめる。

・保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。

・病院職員の健康・福祉の増進につとめる。

・適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。

・厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

《 診 療 案 内 》

平成18年 8 月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	山 口	東 方	川 上	岡 田	早 野	林 田
	内科(一般)再診 (予約制)	川 東 林	中川(9時30分～11時) 岡 林	早 山 東	川 上	中川(9時30分～) 山 林	早 岡 野 田
	循環器科	東 方	池 田(信大)	東 方	鈴 木(信大)	元 木(信大)	
	呼吸器科	山 口	岡 田	山 口	岡 田	山 口	信 大
	神経内科	中 川 (9時30分～)	浅 野	中 川 (10時～)	林 田 (紹介患者さんのみ)		林 田
	血液内科		川 上	川 上			
	専門外来				一 条(肝臓) 洞 (腎臓)		高 梨 (リウマチ・膠原病)
精神科	初 診	中 村	鬼 頭(午前)	竹 鬼 内 鬼 頭 頭	村 田(午前) (新患のみ)	鬼 頭(午前) (新患のみ)	中 村
	心療内科再診 (予約制)	村 鬼 田 村 鬼 田	村 中 村 村 鬼 田	竹 鬼 内 鬼 頭 頭	中 長 村 中 長 村	村 田 村 村 長 萩 原	鬼 頭 鬼 中 村
	精神科再診 (予約制)	村 鬼 田 村 鬼 田	村 中 村 村 鬼 田	竹 鬼 内 鬼 頭 頭	中 長 村 中 長 村	村 田 村 村 長 萩 原	鬼 頭 鬼 中 村
	夜間診療(予約制)			村 田・鬼 頭・中 村・長 村			
小児科	午前	信 大	保 刈(原) (受付11時まで)	原 刈 (保 刈)	保 刈 (原 刈)	原 又は 保 刈	信 大 (原 又は 保 刈)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)	内分泌外来(第3週) (予約)	慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外来	金 谷	佐 藤	佐 藤	金 谷	金 谷	佐 藤
	呼吸器外科	花 岡(午後)			花 岡		花 岡
	形成外科 (受付15時30分まで)		平 沢(13時から診療)		伴 (13時から診療)		
	乳腺内分泌外科	望 月(乳腺) (診療日:7・21日)		藤 森(乳腺) (初診受付10時まで)		信 大(甲状腺)	
整形外科 (受付10時30分まで)		最 向 上 山 田 (受付9時30分まで)	谷 松 柴 高	川 原 田 橋	最 向 上 山 田	谷 最 松 川 上 原 畑	谷 川・最 上・向 山 ・松 原・柴 田 (輪番で担当)
皮膚科		芦 田(信大)		河 内(信大)		太 田(由)(診療日:11・25日)	太 田(由)
泌尿器科				石 塚(信大)			
産婦人科		信 大	曾 根 原	信 大		信 大	
眼 科		太 田(い)	太 田(い)	検 査・手 術 (外 来 休 診)	太 田(い) (午後コンタクトレンズ要予約)	太 田(い) (受付10時まで)	信 大
耳鼻咽喉科			信 大 (14時から診療)			信 大 (14時から診療)	信 大 (受付11時まで)
放射線科		高 山(曾根)	曾 根	高 山(曾根)	高 山(曾根)	高 山(曾根)	高 山(曾根)
麻酔科 (受付11時まで)		松 本	松 本	松 本	松 本	松 本	松 本
リハビリテーション科		岡 田	早 野	中 川	林 田	緒 方	
歯科口腔外科		中 寫	中 信 大(午後)	中 信 大(午後)	中 寫	中 寫	中 寫

☆第2・4・5土曜日(8月12日・26日)は休診です。